

# まちかどニュース

身近なイベントや、まちかどの話題を皆さんから募集しています。

## 「きよせニンジンすしロール」が誕生！

2月20日、消費生活センターで、消費生活教育講座「清瀬市の野菜で作るすしロール」(共催：東京都消費生活総合センター)が開催されました。多くの参加者が清瀬産のニンジンなどを使用した「きよせニンジンすしロール」の調理実習を通じ、地産地消について学びました。

講師の料理研究家 上田淳子さんは多くの著作やテレビ出演などで活躍する他、母としての経験を生かしながら子どもの食育についての活動もされています。



作り方の説明をする上田さん。レシピは市ホームページからご覧になれます

## 自衛隊入隊予定者の激励会を開催



渋谷市長(前列左から3番目)と入隊される皆さんやそのご家族の方など

2月24日、市役所で自衛隊入隊予定者の激励会が行われました。

4月からの入隊予定者6人は、入隊に向けた決意をそれぞれ発表した他、市長などから励ましの言葉をもらい、決意を新たにしました。

## 世界初！「ひまわり8号」のカラー画像写真を寄贈

2月25日、気象衛星センターから、今年7月頃から運用予定の「ひまわり8号」が、世界で初めてカラー画像で撮影した衛星写真が市に寄贈されました。

「ひまわり8号」は、撮影時間の短縮、解像度の向上などにより、データ量が従来の約50倍になり、静止衛星では初めてカラー化するなど世界最先端の観測機能があります。

このため、台風、火山灰、黄砂、海氷、局地的な大雨などの観測及び分析に従来以上に力を発揮することが期待され、天気予報、防災、気候問題に一層重要な役割を果たします。



気象衛星センターの寺本氏と渋谷市長

## 「清瀬市第4期障害福祉計画」の答申



渋谷市長(左)と答申書を提出した植村委員長(中央)、田中副委員長

2月27日、渋谷市長に「清瀬市第4期障害福祉計画」の答申書が提出されました。

障害福祉計画は、市町村などにおいて作成が義務付けられているもので、障害のある方が地域で暮らしやすいサービスの提供体制を維持・発展させるために、障害福祉サービスなどの具体的な目標を定めたものです。

## 地域の皆さんを支える農家の方々が受賞

- ◆第54回企業の農業経営顕彰 東京都知事賞Ⅱ松村俊夫・恵美子さんご夫婦(中里)
- ◆第34回農業後継者顕彰 全国農業会議所会長賞・東京都農業会議所会長賞Ⅱ増田光紀・徳子さんご夫婦(中清戸)
- ◆全国農業会議所会長賞・東京都農業会議所会長賞Ⅱ坂間忠・昌子さんご夫婦(下宿)
- ◆東京都農業会議所会長賞Ⅱ松村郁夫・敏江さんご夫婦(中清戸)
- ◆第41回農業委員会等功労者表彰 農業功労者感謝状Ⅱ増田米三さん(下宿)
- ◆平成26年度北多摩地区農業委員会連合会優秀農業経営者 松村美佐男さん



松村美佐男さん



※4月からの市報のリニューアルに伴い、今号は、「あなたも市報に参加しませんか」の投稿募集は行いません。

## 3本の木とともに

先日、市内の小学4年生の女子から、市長への手紙をもらいました。

「私がこの前、私の休けん主ちよう発表会を見た時に、『市長っておもしくて楽しい人だっ！』と思いました。『うち園の園長先生だったからかな？』とも思いました。清瀬にたいしては、いいと思います。理由は清瀬は緑もたくさんあるし、自然もたくさんあります。しかし、べんりなせつもあるからです。私はけやきホルのような場所をふやしてほしいと思います。『なるべく木や花(自然)をこわさないでほしいです。』『大切にします』という旨の返事を送ったら、また手紙が届きました。

「この前は手紙の返事をありがとうございました。私は清瀬っていいなと思って人は多いと思います。学校でも、緑が多くて清瀬っていいと言ってる人が何人かいたからです。私は清瀬は緑でじまんですが、くらしやすい便利な所もいと思います。子どもは『楽しいやおもしろい』が好きです。お年寄りはずっと『安心できる』というのがいいのではないでしょう。うか。それをめあてにくらしやすい清瀬にしてほしいと思います。嬉しそうですね。子どもたちが清瀬を誇りにしている感じが伝わってきます。清瀬に夢や希望を持ち、友達同士で語り合っている姿が目につかびます。未来を担う子どもたちの信頼に、おとなとしての責任を果たしていかなければ天誅です。

もう一つ市内中学3年生の魂を揺さぶる作文(ゴルフボール交流会を通して学んだ共生について)を抜粋して紹介します。「目の不自由な人たちが音を頼りにボールを相手ゴールにいれるというスポーツだ。その世界的プレーヤーたちの動きはとても凄まじく、観ている私はその迫力に圧倒されている。私(中略)本当に目が見えていないのか？(中略)自分の意識の低さを痛感した。健常者の私は一日一日を無駄にして面倒なことから逃げているのだ。(中略)平等な社会を築くには一人一人が自分も障害者も対等な関係なのだ、とはつきり自覚していかなければならない。そのためにも障害を持つ人々について少しでも関心をもつべきだ。子どもたちに脱帽です。

## 第16回スーパードッジボール大会入賞者

### がんばりすと

2月7日・14日、市民体育館で毎年恒例のスーパードッジボール大会が開催されました。試合結果は次のとおりです。

◆2月7日実施  
3・4年生の部(29チーム・230人)  
優勝Ⅱドラゴンタイガーズ(八小)、準優勝Ⅱいたしません(清小)、第3位Ⅱ三小メイゴ(三小)・当てまくるぜ八小(八小)

◆2月14日実施  
5・6年生男子の部(20チーム・170人)  
優勝Ⅱレッドラッチョ・ハゲラッチョ(八小・十小)、準優勝ⅡSOS団(三小)、第3位Ⅱミラクルキャッチマン(八小)・ぱみゅぱみゅぱみゅ(四小)  
5・6年生女子の部(7チーム・64人)  
優勝Ⅱ燃えろ！八小女魂(八小)、準優勝Ⅱ思い出つくり隊(芝小)、第3位ⅡエヌラルドWinner(十小)



## 廣岡宣司さんが市に図書などを寄贈

市内在住の廣岡さんが、図書館に178冊の本を寄贈されました。廣岡さんは難病と闘いながらも、通所リハビリテーションを行い、大好きな絵を描き続け、難病患者の絵の講師や子どもたちに折り紙や昔遊びを教えるなど、地域貢献活動に尽力されています。

また、独学でハンドエアーアートを開発し、世界最古の伝統を持つ国際展「ル・サロン展」で受賞するなど、画家としても活躍されています。



廣岡さん(写真右)と、描いた作品「月昇る刻」



## 藍染教室 参加者募集

江戸時代から続く羽生市の紺屋で藍染めを体験し、型染めの基礎を学び、一つの藍染め作品を仕上げます。

対象 市内在住の方優先。先着25人(3月25日以降も定員に満たない場合は市外の方も先着順に受け付け)

日時 ①説明会＝4月2日(木)②実習＝9日(木)③仕上げ＝16日(木)、①③は午前10時～午後3時②は午前8時30分～午後5時

場所 ①③郷土博物館②武州中島紺屋(埼玉県羽生市大字小松)  
講師 中村千代氏  
費用 1万円  
持ち物 ①③は筆記用具・カッター・新聞紙・エプロン・昼食②はバケツ・ゴム手袋・エプロン・洗濯バサミ2個・ビニール袋・昼食  
申込み 3月17日から電話で郷土博物館☎493・8585へ

者表彰Ⅱ松村美佐男さん(中里)おめでとうございます。